

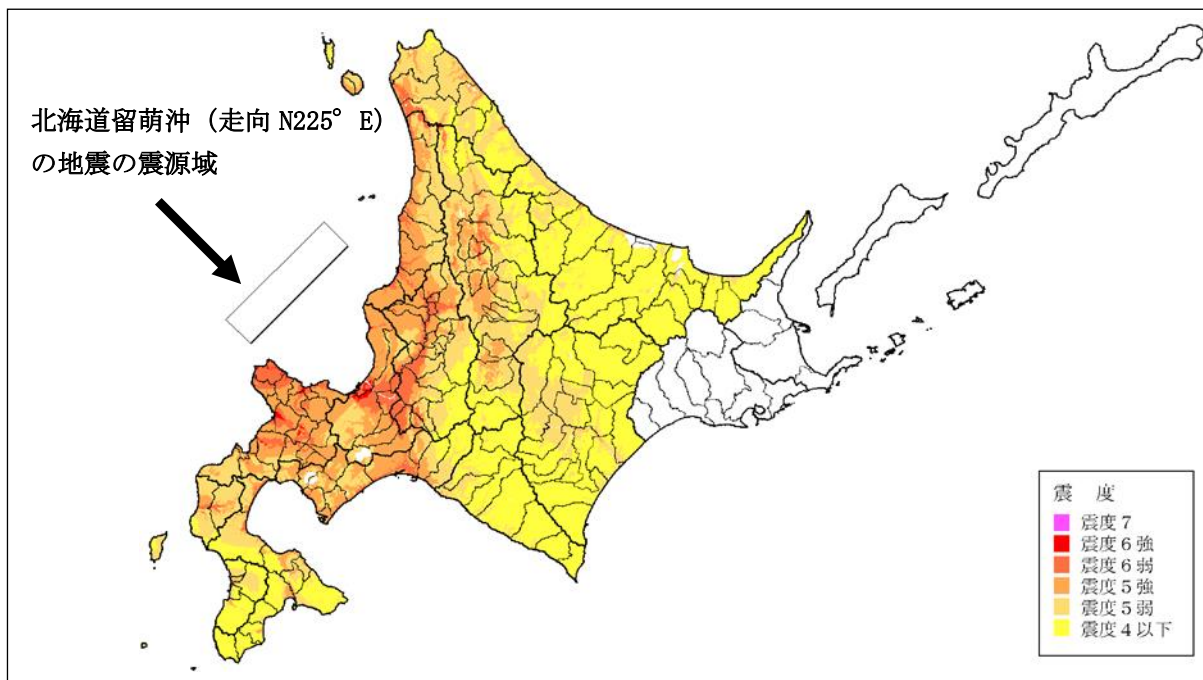
第3章 計画の根拠とした災害と被害想定

1 災害規模の設定

(1) 地震規模の設定

上下水道 BCP で想定する地震規模は、北海道が平成 30 年 2 月に公表した「平成 28 年地震被害想定調査」に基づき、「北海道留萌沖地震(マグニチュード 7.8)」、市内最大震度 6 強の地震が発生したものとして、被害想定を行う。なお、地震発生 の 時期 は、被害の内容が多く、行動制約も大きいと考える厳冬期(1月)の夕方とする。

北海道留萌沖地震の震度分布図



《出典》平成 28 年度北海道地震被害想定調査(平成 30 年 2 月・北海道)抜粋

北海道留萌沖地震の被害数量

分類	項目	被害数量等
名称		北海道留萌沖地震
マグニチュード		7. 8
市内最大震度		6. 3(震度6強)
上水道	被害箇所数	49か所
	断水世帯数	9, 420世帯
	断水人口	20, 804人
	復旧日数	45日
下水道	被害延長(km)	14. 2km
	機能支障世帯数	1, 207世帯
	機能支障人口	2, 666人
	復旧日数	12日

《出典》平成 28 年度北海道地震被害想定調査(平成 30 年 2 月・北海道)及び小樽市業務継続計画(令和 3 年 6 月)より抜粋

(2) 津波規模の設定

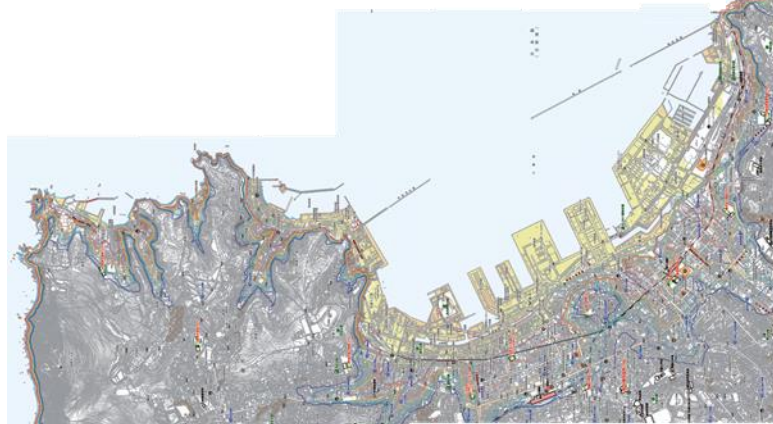
上下水道 BCP では、本市総務部災害対策室が平成 29 年 11 月に公表した「津波ハザードマップ」に基づき、本市への影響が大きい地震による津波が発生した場合の浸水を想定する。

津波浸水想定区域図

【西部】



【中心部】



【東部】



【凡例】

津波浸水予測範囲 (3つの想定津波の最大浸水深)	
浸水深 5.0m以上10.0m未満	
浸水深 3.0m以上 5.0m未満	
浸水深 1.0m以上 3.0m未満	
浸水深 0.3m以上 1.0m未満	
浸水深 0.0m以上 0.3m未満	

標高ライン	
標高 5mのライン	
標高 10mのライン	
標高 15mのライン	
標高 20mのライン	
標高 25mのライン	
標高 30mのライン	

《出典》小樽市津波ハザードマップ(平成 29 年 11 月)の津波浸水想定区域図を加工して作成

(3) 水害、その他の自然災害規模の設定

上下水道 BCP では、本市が令和元年 12 月及び令和 2 年 12 月に公表した「洪水ハザードマップ」に基づき、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により河川が氾濫した場合を想定する。

また、土砂災害警戒区域に設定されている管路についても被害想定を行う。

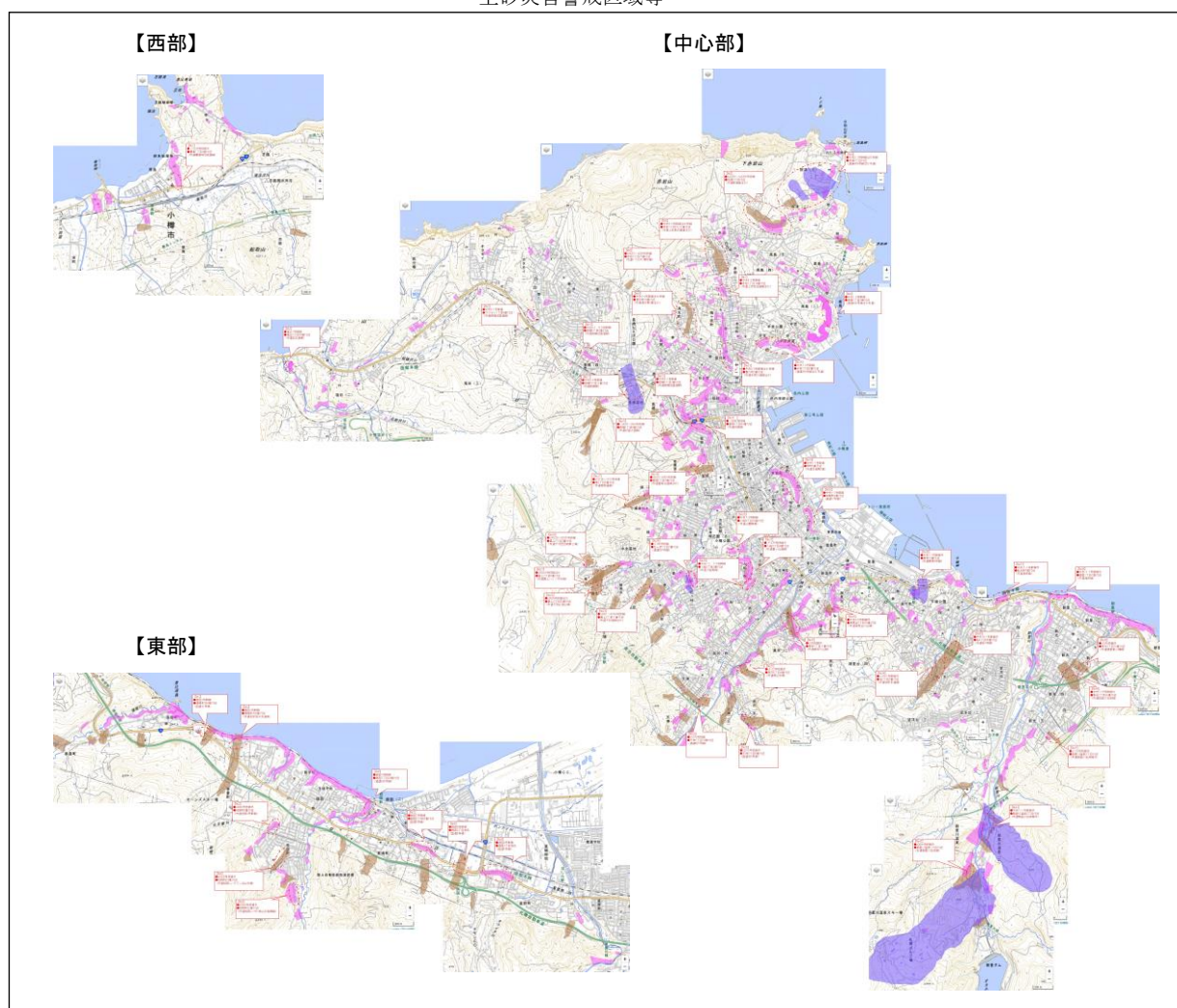
なお、その他の自然災害については、ハザードマップ等が作成され次第、被害想定を行う。

洪水浸水想定区域図



《出典》小樽市洪水ハザードマップ(令和元年 12 月、令和 2 年 12 月)の洪水浸水想定区域図

土砂災害警戒区域等



《出典》「北海道土砂災害警戒情報システム」の土砂災害警戒区域等を加工して作成